

いたち



大きさ	約27cm～40cm
尾の長さ	約12cm～16cm
足跡	約2.5cm
食性	肉食寄りの雑食性
繁殖	年2回、3～7匹の子供を産む

日本には主に固有種である「ニホンイタチ」と、大陸側から渡ってきたチョウセンイタチの2種類のイタチがいます。

チョウセンイタチはニホンイタチよりも大型なためか、西日本を中心にチョウセンイタチの分布が広がっているようです。

イタチは小動物や昆虫、木の実などをエサとする雑食性の動物ですが、とくに小動物を好んで食べる肉食寄りです。

肉食のイタチはフンが非常に臭いので、フンの状態から住み着いたイタチの食性を推測することもできます。

テン



大きさ	約45cm～50cm
尾の長さ	約20cm～25cm
足跡	約3.5cm
食性	肉食寄りの雑食性
繁殖	年1回、2～4匹の子供を産む

テンはイタチよりも一回り大きい身体をもった、イタチそっくりの動物です。テンの毛皮は高級品とされ、また繁殖力があまり高くないことも相まって、日本では希少な準絶滅危惧種に指定されています。テンは毛皮の色合いによって、黄色い「キテン」と褐色の「スステン」に呼び分けられています。とくに冬場は毛皮の色がはっきりと分かるようになるので、色で種類を見分けることができるかもしれません。

オコジョ



大きさ	約15cm～30cm（オス）
尾の長さ	約6cm～12cm
足跡	約3cm
食性	肉食性
繁殖	年1回、4～6匹の子供を産む

オコジョは小さな身体にくりくりとした大きな目と、とても愛らしい外見をしたイタチの仲間です。その容姿からキャラクターの題材となることも多いので、イタチよりもオコジョの方が親しみ深いという方も少なくないことでしょう。

オコジョは見た目とは裏腹に、気性が荒くどう猛な肉食獣です。野ネズミを捕食して巣穴を奪ったり、自分より大きなウサギや鳥に襲い掛かることもあります。

またオコジョは夏と冬で見た目がガラリと変わることも特徴のひとつで、冬の雪に紛れる純白の美しい姿は非常に有名です。